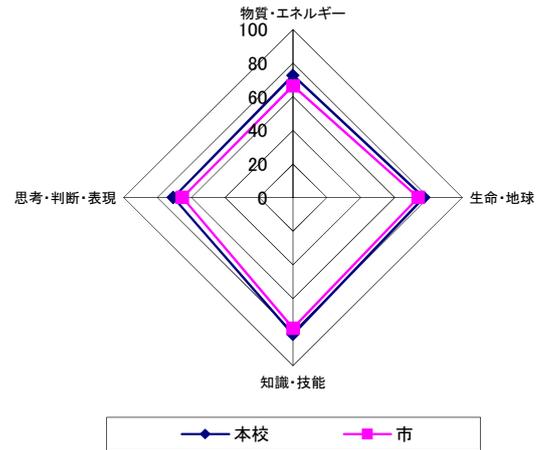


宇都宮市立錦小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	72.7	66.5	66.3
	生命・地球	77.3	74.0	72.6
観点別	知識・技能	81.4	77.6	78.2
	思考・判断・表現	70.6	65.3	63.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は72.7%で、市の平均より6.2ポイント高かった。 ○コイルについて理解しているかを問う問題では、正答率が76.5%で市より20.3ポイント高かった。 ○水溶液の性質の実験結果から、水溶液の種類を特定する問題では、正答率が84.3%で市より16.9ポイント高かった。 ●ミョウバンの水溶液の重さを求める問題では、正答率が68.6%で市より4.3ポイント低かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○正しい実験方法やグラフの読み取りはできるので、普段から実験・観察の技能を身に付けるとともに、実験結果の数値を自分で計算して考察まで導くことができるよう、計算の仕方も復習する。
生命・地球	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は77.3%で、市の平均より3.3ポイント高かった。 ○体温に近い温度が約何℃であるかを理解しているか問う問題では、正答率が92.2%で市より15.2ポイント高かった。 ○だ液によって、でんぷんがどのように変化するかを推測する問題では、正答率が88.2%で市より12.1ポイント高かった。 ●植物のくきを盾に切ったときの断面のようすを問う問題では、正答率が56.9%で市より5.9ポイント低かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○動物や植物のからだのつくりとはたらきについて、よく理解している。植物のくきを切ったときの断面についてのみ、正答率が低かったので、実物を使って観察するだけでなく、デジタル教材も活用して見づらい観察対象でも鮮明に観察できるように工夫し、より理解を深められるようにする。